

「大腸癌の腹腔鏡手術に 体腔内吻合を導入しました!」

2023年4月より当院では大腸癌の中でも結腸癌において、「体腔内吻合」を導入しました(図1)。

従来の体腔外吻合に比べて、やや難易度は上がりますが、最新の外科ステープラーを使用して(図2)、手技を定型化することで安全に導入することができました。

小切開創は、切除した腸を取り出すために必須ですが、体腔内吻合を行うことで縮小することが可能です。下腹部におくことで、下着に隠れる傷での手術も可能となります(図3)。

当科では、日本内視鏡外科学会技術認定医2名を中心にしたチームで、大腸癌腹腔鏡手術にあたっております(表1)。安全で低侵襲な手術が提供できるよう、チーム一丸となって診療に励んでいきます。

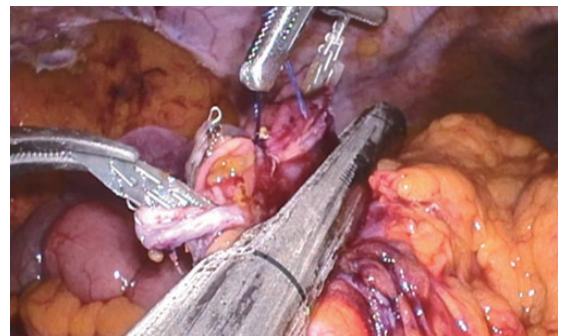
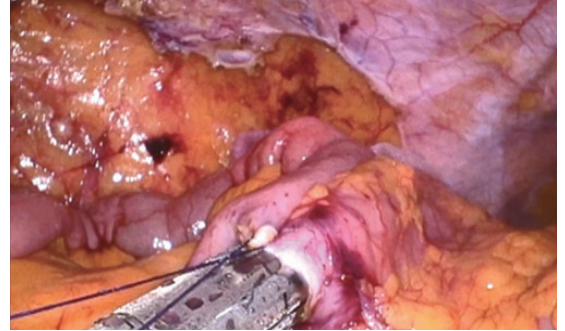


図1. 体腔内吻合の手技



図2. Signia™ ステープリングシステム (Medtronic社)

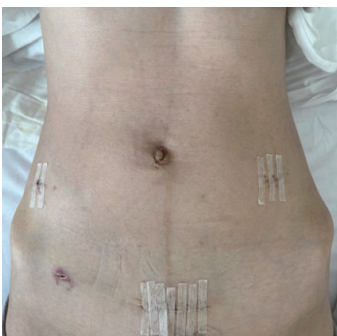


図3. 体腔内吻合での術後創

手術分類	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
結腸切除 腹腔鏡下	53	52	70	58	67	64	59
結腸切除 開腹	13	8	12	10	10	10	2
直腸切除 腹腔鏡下	30	31	26	39	24	30	38
直腸切除 開腹	1	1	1	1	2	1	2
合計	97	92	109	108	103	105	101

表1 手術件数